

# 市長としゃべらんで

## FC徳島スポーツクラブ × 原井 敬 市長

### トーク 企画



この度、吉野川市は一般社団法人FC徳島スポーツクラブと「地域貢献に関する連携協定」を締結しました。協定締結にあたり、FC徳島スポーツクラブの監督、コーチ、選手の皆さんと原井市長の対談が実現しましたので、その模様をお伝えします。

### FC徳島は どんなチーム？

**原井市長** 今回FC徳島さんと連携協定を締結させていただいて、本市にチームの拠点を構えていただけるとなり、これから二生懸命バックアップさせていただきます。私も中学生時代にサッカーをやっていて、個人的にもサッカーは好きなので、今回の連携協定のお話は非常にうれしく思っています。

まずは、FC徳島さんの紹介と一言ことで、監督さんにお話を伺いたいと思います。

**犬塚監督** 監督の犬塚です。FC徳島は、チームの代表を務める笠井代表の「徳島の地に夢を求めて活動できる場所を作りたい」という思いからチームが始まり、それがだんだん大きくなっていき、2016年に一般社団法人化しました。プロになりたい、今のカテゴリーよりステップアップしたいというキラキラした選手が全国から集まっています。徳島県在住の高校生や、大学生はもちろん、Uターンで戻ってくる選手もいます。現在は選手35名、スタッフ6名で活動しています。今では全国でも対等に戦えるようなところまでできています。

そんな中で選手たちは、笠井代表の意向で、働きながらサッカーをするという、社会人としての姿勢をとっても大事

にして活動しています。ですのでこれから吉野川市民の皆さんにそういう姿勢を見ていただけたら、選手がより報われるというか、やりがいを感じることができると、まずは僕たちが認められるようにアマチュア最高峰のJFL参入を目指して頑張りたいな思っています。

**原井市長** 去年、社会人四国リーグで優勝されたようですが、その後に各地域リーグの代表による戦いがあるんですよね。**犬塚監督** そうですね。地域リーグは全国9地域の代表チームと輪番という各地域の2位のチームなど総勢12チームで、毎年11月に行われています。JFLの資格を勝ち取る全国大会のようなイメージです。今年度からレギュレーションの変更があって、そこで1位になった後にJFLのチームと入れ替え戦があるので、より厳しくなりました。

**原井市長** ということは、今までと比べたら、ハードルが高くなった感じなんですね。

**犬塚監督** ハードルはすごく高くなっただと率直に思いますね。

**原井市長** 例えばJFLからプロであるJリーグへの昇格条件として、ホームのスタジアムの規模とか、資本力などいろいろあると聞きますが、JFLの場合には、社会人チームなのでそういった条件はほぼないと考えていいんですかね。

**松本選手** 基本的にJリーグほどハードルが高い条件はないですが、例えば四

【市長】  
**原井 敬**



【選手】  
**松本 圭介**



【監督】  
**犬塚 友輔**



【選手】  
**山口 愛騎**



【コーチ】  
**阿部 貴也**



【選手】  
**橋本真太郎**



国リーグだと四国だけの移動だったのが、JFLに上がると全国各地に移動することになるので、移動費用が大きくなります。ですので、いろんな方々の応援やご協力が非常に重要になってきます。

**原井市長** 本市のFC徳島ホームタウン推進協議会の中で今後、協賛企業を募っていくとか、サポータークラブみたいなものを作っていくとかそういう話もありますので、私も率先して下地を作っていく予定でございます。

後先になりましたが、犬塚監督さんの自己紹介といますか、これまでの歩みをお話いただけますか。

**犬塚監督** 僕は静岡の出身で静岡産業大学を卒業してから、J1のジュビロ磐田に入って7年ほどJ1でプレーさせていただきました。そこからは、アマチュアのコーチをしたり、視野を広げようと思いついて海外に行っていた時期もあります。5年前に徳島に来て、3年ほどこのチームで選手としてプレーしました。その後監督に就任し、現在は監督業2年目になります。昨年度、初めて1年を通してチームを見させていただけました。

**原井市長** プロ経験者なんですね。イタリアにも行かれていたんですね。**犬塚監督** はい。当時所属していたサガン鳥栖との契約満了になったのが30歳のときで、選手として一度は海外でプレーしたかったので、自費で、半年間は

ど練習に参加していました。お金がかかるとの半年が限度でした。契約を勝ち取れなかったんで、日本に帰ってきて、社会人サッカーを始めました。

**原井市長** 徳島に来られるまでは、こちらに縁はあったんですか。

**犬塚監督** 昔、徳島ヴォルティスに美濃部監督がいたときに、移籍のオファーをもらったんです。ただ、それきりです。その後高知で社会人として2年ほどサッカーをしていて、今のチームの笠井代表から、一度徳島でプレーしてみないかと言われて、一番熱心に誘っていただいたのが印象的で移籍することを決めました。

**原井市長** なるほど。それでは次に、阿部さん、自己紹介をお願いします。

**阿部コーチ** 阿部貴也です。今シーズンはヘッドコーチ兼ゴールキーパーコーチとしてチームに携わっています。徳島県出身で、徳島商業高校でゴールキーパーとしてプレーしていました。卒業後指導者になり、母校の徳島商業高校のコーチを4年ほどやらせてもらって、その後小松島高校でコーチをやらせてもらっている途中で、FC徳島さんから声をかけてもらってこのチームでコーチをすることになりました。今年で2年目になります。

**原井市長** チーム内に徳島出身の人は、どれくらいいますか？

**阿部コーチ** 6、7人ですね。

**原井市長** 県外から来ている選手にとっては地の利がある人がチームにいたら生活面でもサポートし合えるときもあるかもしれませんね。

ちなみに阿部さんのお仕事は？

**阿部コーチ** 自動車整備士として6年目になります。この仕事と指導者業を同時にやらせてもらっています。

**原井市長** 分かってもらっています。続いて松本さん、自己紹介をお願いします。

**松本選手** 松本圭介です。名古屋出身です。僕も大学を卒業してから、サッカーでいろんなチームを渡り歩きました。まずJFLのチームに入り、その後に入った右手のチームで、地域リーグからJリーグ昇格を経験し、プロになることができました。地域リーグからプロチームに昇格することの難しさ、プロチームには地域の方々の支援がどれほど重要かということを実感しました。FC徳島は3年目になります。

**原井市長** 岩手でそういった経験をされたんですね。

**松本選手** そうですね。そこでJ3に昇格してJリーグになったという経験ができたので、それは自分のサッカー人生の財産だなと思っています。

**原井市長** 経歴を事前に調べさせていたいたんですが、沖縄でも活躍されていたんですね。

**松本選手** はい。サッカーを通じていろんなところに行ってますね。